

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 晴る日 高柳事業所		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	TEACCHを基盤にし、NCプログラムや太田ステージ評価、津守式幼児発達検査、LCスケール、適応行動尺度や保育園、保護者への聞き取りなど児童さんの発達に合わせ、都度様々なアセスメントを行っています。また、好きな遊びや好きなキャラクターなど強化子を見逃さないようにしっかりと遊びや個別の時間を過ごしています。	園や関係機関との情報共有に力を入れていきたいと考えています。また、保護者様のニーズも聞き取り支援計画を作成していきたいと思っています。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	送迎の関係で対面での共有が難しいこともあるため、連絡帳に課題の詳細、その時の様子、遊んだおもちゃなど細かな様子を記入するよう意識しています。また、新規契約から一定期間はLINEにて写真付きで様子を共有したり、いつもと違う様子や取り組みをした際にはLINEにて共有をさせていただいております。	今後も継続してLINE、連絡帳やお便りなどを活用し、情報共有を行えたらと思っています。
3	こどもは通所を楽しみにしていますか。	一人の利用者さんに対し担当、副担当が中心となって支援する形式をとっており、利用者さんとしっかりとした愛着関係を築けるように意識して関わっています。また、職員内での様子の共有もっており遊びの内容・様子やどのような支援内容なのかを全職員が意識することで統一したかわかりが出来るようにしています。	イベントや制作活動などの内容、絵本やおもちゃなどの環境の充実を図っていきたくと思っています。利用者さんに「また来たい」と感じていただける場所を目指していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	一日の中で三部制で児童さんの受け入れを行っている関係で職員の配置や場所の確保が難しく、昨年は1回のみで開催となりました。	保護者同士の交流の場を設定できるよう、積極的に計画していきます。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	一日の中で三部制で児童さんの受け入れを行っている関係で職員の配置や場所の確保が難しく、開催ができていませんでした。	保護者様が参加できる研修や情報交換が行えるお茶会を開くことができるよう、現在計画を進めております。ご都合が合いましたら是非ご参加ください。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	来所前のあいさつや園見学など、支援者が園と情報共有を行う機会はありませんでしたが、他での交流は持っていませんでした。	通所されているお子さまが通う園とは交流を行っていますが、その他地域のお子さまとの交流に関しましては、そのような機会を設けることができていません。代わりに晴る日グループ内でのお子さま同士の交流の場は設けさせていただき、イベント時に関わりを持ってもらっています。